

はにわ通信

No.207 平成24(2012)年6月号



【文化財センターではどんな仕事をしているの？ ～中学生職場体験学習（わくわくワーク）～】

新学期が始まり、新しい学年にも少し慣れてきたこの時期、市内の中学校では中学生が実際に仕事を体験することで、働く意志や喜び、責任感を身につけて将来の生き方を考える機会として「中学生職場体験学習（わくわくワーク）」を行なっています。今年、文化財センターでは3つの学校の中学生が、仕事を体験します。

文化財センターではこのほか、中学生対象の夏休み体験イベントとして、古代の衣装を身にまとい、はにわ館の展示解説をする「中学生ボランティアガイド」なども行っています。ぜひ一度お越しください。（担当）



宝塚古墳の模型で、大きさや特徴を説明します

土器の修復体験

遺跡から発掘された土器の破片（今回はレプリカ）を、土器の形へ修復していきます。



はにわ館での展示解説

新学期は社会見学で多くの小学生がはにわ館を訪れます。学年に合わせて、わかりやすく宝塚古墳や埴輪について説明します。



展示シートの印刷

来館者に楽しんで

で展示を見てもらえるよう、企画展示室にはワークシートなどを設置しています。

土器のレプリカ作成

天白遺跡から発掘された縄文土器のレプリカを作成しました。



縄文土器レプリカづくりの体験から

さみだれ
五月雨

み 梅の実が緑の中に色わきて紅にほふさみだれのころ

まつだいら さだのぶ
松平 定信



（梅の実のなりはじめは、若葉とおなじ色で木のこずえにうもれているけれど、五月雨のころは、赤い実が緑の中にさわだてて照りががやくようである。）

梅雨のころとなりました。文化財センターにとり合う鈴の森公園では、この時期から夏にかけてたくさん黄色い小花をつける、ヒベリカムヒデコートの群落も雨にぬれそぼっています。

文化財センターでは、すでにお伝えしましたように「中学生職場体験学習（わくわくワーク）」をうけ入れています。さまざまな体験メニューのなかで、国史跡天白遺跡から出土した縄文土器のレプリカづくりは、中学生のみなさんにとってかなり難易度のたかいもののひとつです。底から土器の口にもかけて大きくくびれて開かたちは、ねんどでひもをこしらえ、ていねいにまき上げて作っていくのですが、気を抜くとあっという間にいびつになったり、くびれのところが外側に開きすぎて全体がくずれてしまいます。スタッフのアドバイスをうけて真剣な表情でチャレンジしたみなさんは、苦労しながらもりっぱにしあげてくれました。「ほんものは自分たちの半分くらいの厚みということにおどろいた。これを上手に作った人はすごい。」という感想には、気の遠くなるほどへだたった時代をとびこえ、器用な手仕事（土器づくり）を通じて共鳴しあう人間のつながりを見る思いがしました。みなさんほんとおつかれさまでした。

松平定信（1758～1829）八代将軍吉宗の孫。白河藩主・幕府老中をつとめた。楽翁と号す。（所長）

文化財センター はにわ館 & ギャラリー6月の催し物予定

月曜日は休館です。開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料100円（18歳以下無料）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「大昔のくらし～地域の歴史をさぐる～縄文・弥生・古墳時代」4月14日（土）～6月3日（日）

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■「花の教室花夢 自然の恵みで紡ぐ押し花作品展」5/30（水）～6/3（日）*3日は16:00まで

第2G ■「墨絵の会展」6/5（火）～6/10（日）*5日は13:00～、10日は16:00まで

第1G ■「イーゼルの会展」6/10（日）～6/17（日）*17日は16:00まで

第2G ■「第2回三重県風景写真家写真展」6/16（土）～6/24（日）*毎日16:30まで、24日は15:00まで

第2G ■「第28回全日本写真連盟88支部写真展」6/27（水）～7/1（日）*毎日10:00～、1日は16:00まで



バーコード読み取り
（文化財センター情報）